

# 道路・交通

あかしあ通り自転車レーンは適切に運用されているか

滝口幸一議員(フオ) ①自転車レーンの運用に伴い、市と小警察署が行った取り組みは。②自転車レーンの使い勝手について市の見解は。

市長 ①市は交通量調査や周辺住民等へのアンケートを実施し、小警察署では駐車違反の積極的な取り締まりや自転車ストップ作戦等のキャンペーンを実施している。②通行部分が分離されたことで、より快適な自転車走行が可能となったが、違法駐車車両の排除等の課題も認識している。

市民に優しい自転車政策で安全・安心な町をつくらう

幸田昌之議員(公明) ①市内で1年間に発生した自転車事故の件数と傾向は。②左側通行を遵守させるために行っている対策は。



▲事故再現型交通安全教室(上水中学校)

②小平3・2・8号線まじゅくりワークショップの結果をどう都に伝えるのか。

市長 ①小平市都市計画マスタープランを策定する際に市内の道路交通ネットワークの整備を含めてアンケート調査を実施し、市民の意見を聞いている。

②4日間にわたるワークショップの話し合いの結果等をまとめたレポートを作成し、本年6月に都に提出したが、市の見解については添付していない。

## 東京街道周辺の工事について

川里春治議員(政和) ①都が行う東京街道のすいすいプランの進捗状況を把握しているか。

②道路の雨水整備の今後は。市長 ①平成22年度から用地買収が進められ、7割程度の用地取得が完了しているが、現時点では道路工事は定まってい

ない。②小金井街道より東側は本年度に主要な管渠の整備が完了し、今後はこの管渠に接続する南北の道路で雨水整備を予定している。西側は一部整備が完了しているが、都の道路拡幅工事等に

あわせて雨水整備を行っていく。

## 小平らしい町並みやみどりの景観づくりを

平野ひろみ議員(生ネ) ①景観行政団体となつて独自の景観形成策を考へていないか。

②都の景観計画で特に重要な地域とされる玉川上水の景観形成についてはどのような考えか。

市長 ①景観行政団体になれば景観条例を定め、景観形成の方針、基準の規定が可能となる。



▶玉川上水(市民総合体育館付近)

今後、市民と景観に対する考え方を共有し、機運を確かめながら研究していく。

②玉川上水の緑は大変貴重な景観であり、都と協力して良好な景観を守る努力をしていく。

※景観行政団体とは 景観法に基づくさまざまな施策を進める地方公共団体のこと。市町村の場合は、都道府県との協議を経て景観行政団体になることができる。

## 新小平駅と青梅街道駅周辺の環境等の整備について

小野こういち議員(政和) ①都市計画マスタープランに基づく新小平駅周辺のまちづくりの進捗状況は。

②小川宿・鎌倉街道を歴史的資産として再評価し、地域活性化に役立たせていく考えは。

市長 ①この地区の都市計画道路の整備内容等が定まってい

ないため、新しい町の機能の検討はしていない。今後の都市計画事業の進捗に合わせて検討す

る。②地域資源の一つと認識しており、観光まちづくり振興プランを策定する中で活用方法を検討していきたい。

## 小川駅前周辺地区まちづくりワークショップについて

細谷 正議員(共産) ①懇談会とワークショップが開催されたが、それに対する評価は。

②小川駅東口への対応は。市長 ①参加者から活発な発言があり、市民参加のまちづくりビジョンが策定できるものと期待している。

②駅前広場は未完成となつており、西武鉄道株式会社からの要望等も踏まえ、懇談会やワークショップの中で議論されるものと考えている。懇談会による最終的なまとめを受け、市としてのビジョンを検討したい。

小川駅前周辺地区まちづくりワークショップ

再び、リサイクルセンター西側広場の有効活用について

小野こういち議員(政和) ①現在の利用方法が資産の有効活用として最善と思っているか。

②遊具等の維持管理の現状は。市長 ①利用方法については中間処理施設全体の整備の中であ

わせて整理し、改定するごみ処理基本計画の中で一定の方向性を示す予定である。

## 3市共同資源化施設について、ゼロベースで計画の見直しを

橋本久雄議員(虹ひ) ①施設の完成時期をいつと設定しているのか。

②計画をゼロベースで見直すべきではないか。市長 ①現時点では完成時期の設定はない。一般的に資源化施設の整備には4年程度を要する

と言われている。②3市共同資源化事業については本年中の解決を目指し、今

都に要望して防護柵の設置等の対策を実施してもらっている。教育長 ②子どもたちは愛のチャームを目安に帰宅していること等から設置は考えていない。

住民と協働したまちづくりのために

木村まゆみ議員(共産) 津田菜園跡地問題では小平市開発事業

後の中間処理施設の整備見直し等について一定の方向性を固める予定である。

## 持続可能な社会をめざすごみ処理のあり方について

日向美砂子議員(生ネ) ①ごみ処理基本計画の策定スケジュールは。

②食物資源循環モデル事業の利用状況と利用者からの声は。市長 ①3市共同資源化事業の

本年中の解決を目指し、中間処理施設の整備の方向性を固めた上で、来年度に策定予定である。

②本年8月末の参加状況は63グループ、536世帯で、アンケート調査では約9割が参加してよかったと回答しており、発生抑制の啓発にもつながっている。

## 高齢化社会における家庭ごみの戸別収集と有料化について

浅倉成樹議員(公明) ①戸別収集を行った場合の費用と各家庭の負担は。

②高齢者など希望する人に戸別収集を実施すべきでは。市長 ①他市では収集委託料が

1・3倍から1・6倍の増となっている。各家庭の負担は収集

条件や手数料の設定等により異なり、現時点では試算できない。②日常のごみや資源を集積所に排出できない人は、収集業務を委託している事業者が地域貢献として無償対応により福祉的な視点で戸別に収集している。

自然エネルギーの活用で小平版メガソーラー構想などを目指せ

永田政弘議員(政和) ①小さな落差で可能な小平版小水力発電構想を掲げられないか。

②全地域で自然エネルギーを活用した小平版メガソーラー構想が考えられないか。

市長 ①設置可能な発電機の有無や場所等の課題を整理し、設置の可能性を研究していく。

②市内では太陽光が一番有効な自然エネルギーと考えており、公共施設への太陽光発電設備の計画的な設置とともに市民等に理解を深めてもらい、設置に向けた機運を盛り上げていく。

放射線測定と今後の対策はどうか

細谷 正議員(共産) ①比較的高い空間放射線量が測定された地点の除染対応の評価と今後の経過観測についての考えは。

②除染に関するマニュアル作成はどうなっているか。市長 ①放射線量の着実に低減

している傾向が確認でき、効果があつたと考えるが、継続的な経過観測の必要な箇所もあり、引き続き状況を把握していく。

②本年4月に市民向け放射性物質除染マニュアルを作成し、個人で除染を行う際に活用してもらおうとともに、必要に応じて

アドバイスを行っている。

# 都市整備

条例の盲点をついた開発は条例改正でストップを

橋本久雄議員(虹ひ) ①津田菜園跡地の開発をどう考えるか。

②こうした開発行為が起きないような条例改正が必要では。

市長 ①新設道路の築造や3千平方メートル以上の質の変更がない宅地分譲であるため、小平市開発事業における手続及び基準等に関する条例には該当しな

いが、一定規模以上の敷地に対する指導ができなかったことは今後の課題と考えている。

②条例施行から約7年が経過しているため、他市の条例の研究等を行い、見直しを図りたい。

## 小平都市計画道路3・3・8号線計画は市民に意見を聞くべき

橋本久雄議員(虹ひ) ①計画について市民の意見を聞くアンケート等を行う必要はないか。

条件や手数料の設定等により異なり、現時点では試算できない。②日常のごみや資源を集積所に排出できない人は、収集業務を委託している事業者が地域貢献として無償対応により福祉的な視点で戸別に収集している。

自然エネルギーの活用で小平版メガソーラー構想などを目指せ

永田政弘議員(政和) ①小さな落差で可能な小平版小水力発電構想を掲げられないか。

②全地域で自然エネルギーを活用した小平版メガソーラー構想が考えられないか。

市長 ①設置可能な発電機の有無や場所等の課題を整理し、設置の可能性を研究していく。

②市内では太陽光が一番有効な自然エネルギーと考えており、公共施設への太陽光発電設備の計画的な設置とともに市民等に理解を深めてもらい、設置に向けた機運を盛り上げていく。

放射線測定と今後の対策はどうか

細谷 正議員(共産) ①比較的高い空間放射線量が測定された地点の除染対応の評価と今後の経過観測についての考えは。

②除染に関するマニュアル作成はどうなっているか。市長 ①放射線量の着実に低減

している傾向が確認でき、効果があつたと考えるが、継続的な経過観測の必要な箇所もあり、引き続き状況を把握していく。

②本年4月に市民向け放射性物質除染マニュアルを作成し、個人で除染を行う際に活用してもらおうとともに、必要に応じて

アドバイスを行っている。